

2050年脱炭素社会・アクション宣言 令和5年度 取組事例の紹介

登録 No.51 三井住友海上火災保険株式会社四国西支店

2050年脱炭素社会実現に向け、次のことに取り組んでいます！

○環境問題への基本姿勢

当社は、環境問題を経営の重要課題として位置付け、地球環境と事業活動との持続可能な関係構築をめざしています。2010年4月からは「MS&AD インシュアランス グループ環境基本方針」のもと、環境保全活動や生物多様性の保全活動等を積極的に推進しています。

○温室効果ガス排出量削減の取組み

MS&AD インシュアランス グループは「2050年度までに温室効果ガス排出量の実質ゼロ」に向け、温室効果ガス排出量削減に取り組んでいます。また、省エネのため照明のLED化や空調設備更新を進めています。さらに、社有車を順次HV(ハイブリッド自動車)やEV(電気自動車)に入れ替え、ガソリン使用による温室効果ガス排出量削減も進めています。

○MS&AD グリーンアースプロジェクト

2022年度から、自然環境の保全・再生や環境負荷低減、防災・減災・地方創生をテーマに、MS&AD グループ一体で取り組む「MS&AD グリーンアースプロジェクト」を開始しました。本取組を通じて、さまざまなステークホルダーと協働し、自然が持つ多面的な機能を活かしたレジリエントでサステナブルな社会の実現に貢献していきます。

<自然環境の保全・再生による防災・減災と地方創生>

地域の活動団体と連携し、社員とその家族等のボランティアによる現地での環境保全・再生活動を通じて、自然が有する防災・減災の機能回復や脱炭素、雇用機会の拡大等、社会課題の解決に取り組んでいます。2022年度は熊本県球磨川流域、宮城県南三陸町を活動場所に定め、湿地、里山、藻場などの保全・再生活動に参加しました。

2050年脱炭素社会・アクション宣言 令和5年度 取組事例の紹介

<ペーパーレスによる環境負荷低減>

eco 保険証券、Web 約款、スマホ決済の利用等、お客さまにご選択いただいたペーパーレス取組の進捗に応じて、脱炭素化や生物多様性保全を目的とした活動に寄付しています。

<電力やガソリン利用の抑制による環境負荷低減>

全社員が紙、電力、ガソリンの使用量削減に取り組んでいます。DX 推進によるペーパーレス会議やスマートワークの加速、執務室内の節電、上下数階の移動の際の階段利用等、身近な活動を通じて環境負荷低減に取り組むとともに、社員の理解促進につなげています。

インドネシア熱帯林再生プロジェクト

森林の再生と持続可能な地域社会の形成に向けた取組み

2005年よりインドネシア環境林業省と連携し、ジャワ島ジョグジャカルタ特別州のパリヤン野生動物保護林の修復・再生プロジェクトを18年にわたり継続しています。350haの地域に約30万本の植樹をしたことで、劣化した野生動物保護林が修復・再生しています。

■訪問場所 パリヤン野生動物保護林(インドネシア ジャワ島ジョグジャカルタ)



2005年10月(プロジェクト開始前)



2021年3月の様子

植樹は在来樹種を中心とし、生物多様性に配慮して行っています。開始当初から近隣住民が経済的に困窮すると保護林の不法伐採のリスクがあるため、樹木が成長するまでの間に収入が得られるよう果樹や農作物等も育てるなど、住民の経済的支援にも取り組んでいます。

2050年脱炭素社会・アクション宣言 令和5年度 取組事例の紹介

現在では周辺地域住民に植林・育林の技術指導を行う住民協働型植林を展開し、住民の生計向上や地域経済の活性化に貢献しています。加えて、ガジヤマダ大学に環境教育を委託し、小中学校の先生や生徒とその親等を対象に、森林保護の重要性を伝える研修も実施しています。



苗木水やりの様子